

2026年度

総合文化研究科修士課程第1次(筆記)試験入学試験問題

専門科目

(13:30 ~ 16:30)

地域文化研究専攻

氏名	受験番号

試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。開始の合図があるまで、下記の注意事項をよく読んでください。

【注意事項】

1. 本冊子に落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所等があった場合には、手を挙げて申し出ること。
2. 本冊子の表紙に氏名及び受験番号を、解答用紙の上欄に受験科目名(「専門科目」と記入)、問題別番号、氏名、受験番号を忘れずに記入すること。
3. 解答問数と同じ枚数の解答用紙を配付するので、問題ごとに解答用紙1枚を使用すること。
過不足があった場合には、手を挙げて申し出ること。解答用紙の追加配付は認めない。
4. 解答には必ず黒色の鉛筆又はシャープペンシルを使用すること。
5. 問題解答に関係のない特殊符号、その他これに類似の記号及び符号を記入した答案は無効とする。
6. 氏名及び受験番号を解答用紙の所定の欄以外に記入しないこと。
7. 試験場内で配付された解答用紙及び本冊子等は、持ち帰ることを禁ずる。

草 稿 用 紙 (切り離してはならない)

第Ⅰ問 次の3つの文章から1つを選び、その主張を日本語で120字以内にまとめなさい。その上で、その主張についてあなたの立場を明確にし、その根拠を具体的に論じなさい。選択した文章の番号を解答用紙の所定の欄に記すこと。

1 [文章本文を省略]

出典：小倉充夫『自由のための暴力 植民地支配・革命・民主主義』（東京大学出版会、2021年）、235-236頁（第6章第1節第1項「構造的暴力と暴力批判」の全文）

2 [文章本文を省略]

出典：管啓次郎「詩・集合性・翻訳についてのノート」、佐藤＝ロスベアグ・ナナ（編）『翻訳と文学』（みすず書房、2021年）、236-239頁、「詩は常に・・・」から「…境界線を持つ。」まで。一部改変あり。

3 [文章本文を省略]

出典：キース・ロウ（田中直訳）『戦争記念碑は物語る 第二次世界大戦の記憶に囚われて』（白水社、2022 年）、11-14 頁、「二〇一七年の夏、・・・」から「・・・本能的に知っているのだ。」まで。一部改変あり。

第Ⅱ問 次の5つの設問から1つを選んで日本語で答えなさい。解答用紙1枚以内で解答し、選択した設問の番号を、解答用紙の所定の欄に記すこと。

[設問]

- 1. あなたが関心をもつ地域と他の地域のあいだで生じた文化の接触について、具体例をあげて論じなさい。
- 2. あなたが関心をもつ地域において、「権威」はどのように捉えられ機能してきたか、具体例をあげて論じなさい。
- 3. あなたが関心をもつ地域において、「世代」はどのような意味をもってきたか、具体例をあげて論じなさい。
- 4. あなたが関心をもつ地域において、「友情」は社会や文化の中でどのように位置づけられてきたか、具体例をあげて論じなさい。
- 5. あなたが関心をもつ地域において、「人間」はどのように捉えられてきたか、具体例をあげて論じなさい。